

10/8-名古屋市議会「財務福祉委員会」

「なごや医療モデル(仮称)における緑市民病院及び厚生院附属病院のあり方について」(健康福祉局関係)が提案される!

「緑市民病院」・「厚生院附属病院」については、名古屋市立大学の付属病院化があたかも既定路線であるかの様に、その在り方について、一切の提案・承認もなく事実経過が積み上げられて来ました。こうした不透明な経過に対する批判の高まりがある中、名古屋市健康福祉局は9月議会—10月8日開催の「財務福祉委員会」に『なごや医療モデル(仮称)における緑市民病院及び厚生院附属病院のあり方について』(健康福祉局関係)を提出し説明しました。市側の説明と議員の質問等については、名古屋市議会 HP 上の「委員会中継」映像で確認することが出来ます。(議事録は後日掲載予定)事務局が入手した資料によれば、(概要を以下に掲載します)

なごや医療モデル(仮称)における
緑市民病院及び厚生院附属病院のあり方について

(目次)

	頁
1 なごや医療モデル(仮称)について.....	1
2 緑市民病院及び厚生院附属病院の市立大学病院化について.....	6
3 今後のスケジュール(予定).....	9

健康福祉局

(2) なごや医療モデル(仮称)の構築

公立大学法人名古屋市立大学(以下「市立大学」という。)の機能を最大限活用しながら、民間医療機関をはじめとする関係機関とともに市民が求める安全・安心な医療・介護を提供する「なごや医療モデル(仮称)」(以下「医療モデル」という。)を構築する。

これに向けて、令和3年4月に市立大学病院化した東部・西部医療センターに加え、緑市民病院及び厚生院附属病院を市立大学病院化し、5病院による市立大学病院群として地域の医療体制の充実を図る。

さらに民間医療機関等に対して、不採算の政策医療への支援や市立大学による研究成果の還元、医療人の育成・供給などを通じ、地域の医療・介護の充実を図っていく。

(3) 医療モデル構築の狙い

市と市立大学が、医療・介護サービスの提供主体である民間医療機関や介護事業者、その他関係機関とともに以下の取組みを推進する。

ア 救急・災害医療や新興・再興感染症への対応

(ア) 救急医療の受入体制の強化

市立大学5病院の機能分担と連携により、市域の救急医療への対応力を高め、圏域内の医療機関とともに救急医療体制を強化

(イ) 大規模災害等発生時の災害医療体制の充実

市医師会、地域の医療機関及び県等と連携しつつ、市立大学5病院とともに負傷者等の受入体制を確保し、災害医療体制を充実

(ウ) 新興・再興感染症まん延時の患者受入体制の確保

圏域内の医療機関や県等と連携しつつ、市立大学5病院の機能分担と連携により重篤患者から軽症者、感染隔離後の患者までの入院受入ができる体制を充実

イ 地域包括ケアシステムの深化・推進に係る高齢者医療等の充実

(ア) 「高齢者の生活を支える医療」の充実

市、市立大学と地域の医療機関、介護事業者等の連携により、ライフステージに応じて予防、健診、医療、介護を市民に切れ目なく総合的に提供するとともに、「高齢者の生活を支える医療」を充実

(イ) 健康長寿に資する研究の推進

市立大学が他の機関とともに、健康長寿に資する研究を推進し、その成果を市の介護予防・認知症施策等に反映するとともに、地域の医療機関や介護事業者等に還元

(ウ) 緑市民病院及び厚生院附属病院における取組み

- ・緑市民病院では、生活習慣病の予防や地域住民の健康づくりに取り組む。
- ・厚生院附属病院では、高齢者の健康長寿に向けた医療・研究拠点として、高齢者医療、先進リハビリ、臨床研究等に取り組む。

ウ 医療人材の育成・確保と地域の医療水準の向上

(ア) 優れた医療人の育成

令和5年4月に開設予定のデータサイエンス学部（仮称）を含め市立大学8学部7研究科5病院を幅広く活用して優れた医療人を育成し、地域の医療機関や介護事業者等に供給

(イ) 看護人材の育成

中央看護専門学校を廃止し、市立大学看護学部に統合することにより、地域医療から国際貢献まで幅広く活躍できる看護人材を育成

(ウ) 緑市民病院及び厚生院附属病院における取組み

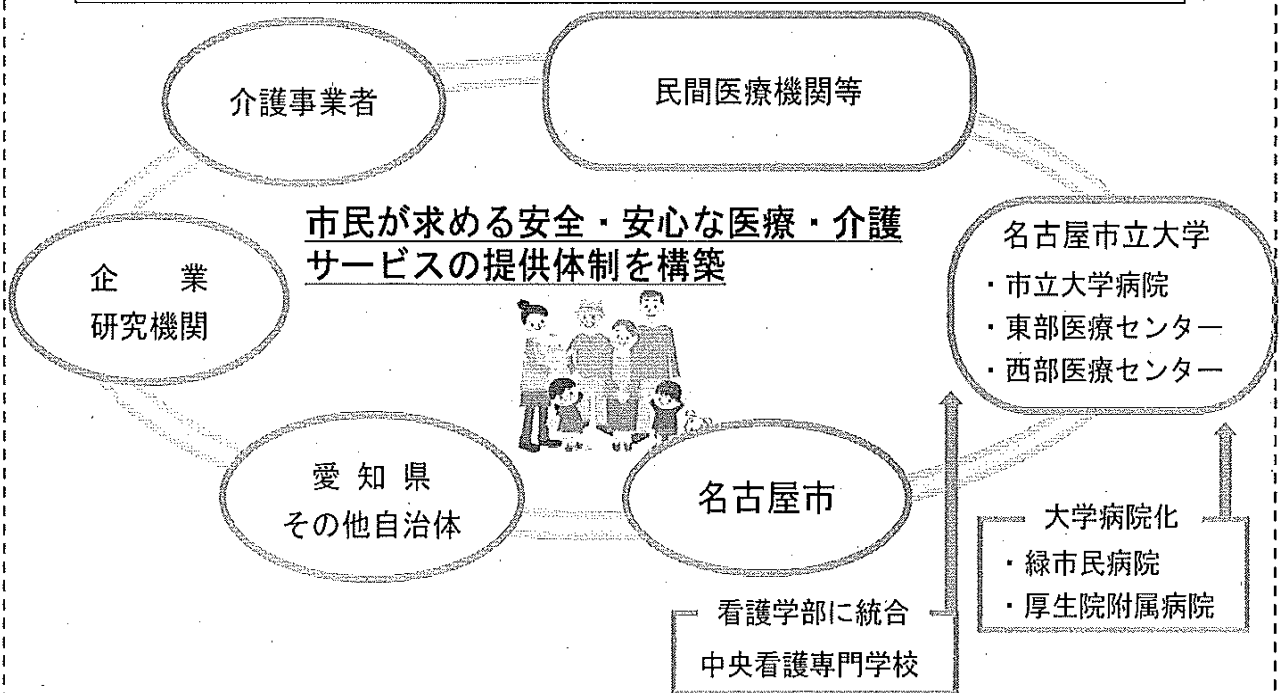
- ・緑市民病院では、地域医療を支える医療人を育成
- ・厚生院附属病院では、高齢者医療・介護を支える人材を育成

【参考】医療モデルの概念図

市立大学の機能を最大限活用しながら、民間医療機関をはじめとする関係機関とともに市民が求める安全・安心な医療・介護を提供

① 救急・災害医療や新興・再興感染症への対応

- 救急医療の受入体制の強化
- 大規模災害等発生時の災害医療体制の充実
- 新興・再興感染症まん延時の患者受入体制の確保



② 地域包括ケアシステムの深化・推進に係る高齢者医療等の充実

- 「高齢者の生活を支える医療」の充実
- 健康長寿に資する研究の推進
- 市立大学病院化を目指す施設の取組み
 - ・緑市民病院
 - 生活習慣病予防や地域住民の健康づくりへの取組み
 - ・厚生院附属病院
 - 高齢者医療、先進リハビリ、臨床研究等の取組み

③ 医療人材の育成・確保と地域の医療水準の向上

- 優れた医療人を育成し、地域に供給
- 中央看護専門学校を市立大学看護学部に統合
 - 幅広く活躍できる看護人材の育成
- 市立大学病院化を目指す施設の取組み
 - ・緑市民病院
 - 地域医療を支える医療人の育成
 - ・厚生院附属病院
 - 高齢者医療・介護を支える人材育成

(2) 大学病院化後の各施設の将来像

ア 緑市民病院

(ア) 医療モデルにおける役割

- ・高齢者人口をはじめ人口の顕著な増加が見込まれる緑区における地域医療のさらなる充実
- ・壮・中年期以降の健康長寿に資する取組み
- ・地域医療を支える医療人の育成

(イ) 取組みの方向性

- ・地域のニーズに的確に対応した医療の提供
- ・附属病院群の一翼として、高度で安全な医療を提供
- ・地域の健康づくりを支援し、地域包括ケアシステムの深化・推進に寄与
- ・医学研究を推進し、健康長寿社会の実現に貢献
- ・地域医療を支える医療人の育成

(ウ) 大学病院化の時期

令和5年4月を目標とする。

イ 厚生院附属病院

(ア) 医療モデルにおける役割

- ・高齢化のさらなる進展を見据えた先駆的な高齢者医療の提供
- ・高齢者の健康長寿に資する臨床研究
- ・高齢者医療・介護を支える人材育成

(イ) 取組みの方向性

- ・横断的な診療による先駆的な高齢者医療の提供
- ・高齢者の心身機能回復・維持をめざす医療の提供
- ・地域包括ケアの拠点として臨床・イノベーションを推進
- ・健康長寿に資する臨床研究とデータサイエンスへの取組み
- ・高齢者医療・介護を支える人材育成

(ウ) 研究・人材育成

- ・研究施設の設置
- ・理学療法士等の養成

(エ) 大学病院化の時期

令和5年4月を目標とする。

※ 介護療養型医療施設については令和5年3月末で廃止

* 「なごや医療モデル」では、なぜ、2病院を名古屋市立大学附属病院としなければならないかの根拠を説明することにはなっていません！今後、この計画に対する反論とともに、2つの病院では、それぞれ住民組織が結成され「署名」等の運動がスタートしています！